

① 調べてみよう! あなたの地域の和食文化

② 書き出してみよう! これまでの学習をもとに誰に何を伝えたいか

「振り返りポイント確認テスト」内に記入している「ここまで学んだことの中から、誰かに伝えたいと感じた内容」を参考にしてください。

伝えたい相手:

伝えたい内容:

その理由(これまでの生活経験・課題として感じていること):

③ 考えてみよう! どんな授業や活動の展開ができるか企画する

企画名:

ターゲット:

狙い(活動をする中で期待すること):

SDGs視点(SDGsのどれに貢献できるかを考えてみましょう):

情報発信の手段:

時間	活動内容	どこで、誰と、必要なものなど

実践研修シート

このシートは、和食文化継承リーダー研修の「実践研修」で使用するものです。
これまでの学習をもとに活動の企画案などを考えてみましょう。

(参考：ステップガイド P100)

① 調べてみよう! あなたの地域の和食文化

和食の要素には、地域の伝統的な生活様式や文化があり、多くの地元の食材や多様な調理方法でつくられた料理やその組み合わせから成り立っています。また、郷土料理や特産品など、地域を代表するメニューや食材は、その土地の自然や文化、伝統などと密接に関係することも多いものです。まずは、地元の食文化に詳しい方にヒアリングする、文献を調べるなどして、皆さんの地域の和食文化の魅力を確認してみましょう。例えば、まずは農林水産省Webサイト「うちの郷土料理」で地域の郷土料理を検索してみてもいいでしょうか。

② 書き出してみよう! これまでの学習をもとに誰に何を伝えたいか

「振り返りポイント確認テスト」内に記入している「ここまで学んだことの中から、誰かに伝えたいと感じた内容」を参考にしてください。

伝えたい相手： ライフスタイルが大きく変わる結婚や妊娠、出産、育児のタイミングを迎えている方々。シニアの方々。
保育園・幼稚園・学校などの子どもたち。
皆さんの地域で和食文化の魅力を伝えたい方々をターゲットにしましょう。

伝えたい内容： 今後、今まで以上に家庭環境や社会が変わる中、地域の人々が健康で豊かな生活を送るために、残し、伝えていきたいと思う食事、行事や作法などを書き出してみましょう。

その理由(これまでの生活経験・課題として感じていること)： なぜそれを伝えたいと思ったかなどを書き出して整理してみましょう。
例えば、気になる子どもの姿、家庭環境や地域の様子、関連する体験活動を通じて感じたことなど。

③ 考えてみよう! どんな授業や活動の展開ができるか企画する

企画名： 「妙高おせちをつくろう」等活動のテーマ、教科との関連を図る場合は、教科と単元名

ターゲット： 園児、小学生、中高生、子育て世代、シニアなど

狙い(活動をする中で期待すること)： なぜこの企画を行う必要があるのか、この企画を行って期待することなど

SDGs視点(SDGsのどれに貢献できるかを考えてみましょう)： この企画を行うことは、持続可能な社会へどうつながっていくのか、SDGsの目標ではどれに貢献するのかなど

情報発信の手段： 給食日より、イベント、広報誌やSNSの活用も含めて企画してみましょう。

時間	活動内容	どこで、誰と、必要なものなど
1単元時間で実施または数時間の単元か。年間を通して行うのかによって異なります。	時系列を意識しながら、活動内容を具体的にイメージしましょう。 ※この内容が大切! 希望や夢を書きましょう!	園や学校から出かけますか? 協力してほしい人はいますか? 必要な材料、道具、資料は何ですか? 事前にしておくとよいことはありますか? など、具体的に考えてみましょう。